

ふみびと

第386号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

小さなことばが 大きな力に

些細な一言

いつも年が明けると必ず挨拶の電話をしているある「お客様」

と言っても社会人として歩き出した年に、その時働いていた会社のお客様「だった」方で、今は

その関係ではないのですが、今でも年に一度だけ電話をかけるのが恒例となっています。

まだまだ右も左もわからない若造の話聞いてくられて「頑張りなよ」とかけられた声が忘れられず、ずっと続けているお

礼の電話。あの時かけていただいた声の温かさが今でも残って、辛いことも乗り越えられる原動力

になっていくように思います。その方はそこまでのこと

をしたと思っていないようで、毎年電話をかける度に「もうお客様じゃないの」と笑っていま

すが、その声にあの時の温かさが甦るようで元気をもらえています。「頑張りなよ」というほんの些細な一言。



それでもそんなたった一言が人生を変えたり、支えてくれることも、言葉がどんなに重いものかわかったような気がします。

自分が誰かの人生を変えられるような大きな一言が言えるわけでもないし、そんな大それたことをしようと思っているわけでもないけれど、皆さんにとって文通村で交わす言葉のひとつひとつが、皆

まだ、途中

「人間万事塞翁が馬」という古い言葉がある。ある老人の大切な馬が逃げる。残念な事だったが、それがきっかけで立派な馬が手に入る。喜ばしい事だったが、やがてその馬から息子が落馬して怪我をする。そして戦争が起り、結局怪我をした息子は戦争に行かずに済んだーそんな話だ。けれど

この老人は、そうした一つひとつの出来事に、過度に喜ぶことも深く嘆くこともなかった。何が幸せ

ないことばかりだ。嬉しいと思っただけが後に重荷になることもあれば、つまづいた出来事が思いがけず良い方向へいくこともある。だからこそ、目の前の出来事に一喜一憂しすぎず、すべてを大きな流れの中の一部だと思える心を持ちたい。塞翁のように静かに「いま」を見つめるまなざしで。

風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。送る方には簡単♪下の風船便切手宛を切り取って手紙に貼り宛に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。事務信同の筒さで流す。宛封下まで交り局用封今いま



今年の目標

毎年恒例の「今年の目標(みんなの投稿)」を募集いたします！皆様

に素敵な一年と素晴らしいご縁がありますように。詳細は別紙をご覧ください。たくさんの方が参加される投稿イベントです。

次回発送日

時々読み返しては「あの頃」に思いを馳せる、そんなタイムスリップも手紙のひとつの楽しみ方かもしれません。

次回発送日は2月9日の予定です。送りたいお手紙がある場合は6日まで事務局に到着することをお近くの郵便局で確認の上、ポストに投函して下さい。これは発送に間に合わせる一つの目安です。ご自身のペースを優先してください。

